

団体名 <b>八重瀬町立 新城幼稚園</b>	連絡先 TEL : 098-998-5024 Eメール : arayou1@town.yaese.lg.jp
---------------------------	--

## 1 実践事項

タイトル：「基本的な生活習慣の定着にむけて」

## 2 実践内容

持ち物をそろえて登園できるように「持ち物チェックリストの配布」「表示の活用」「持ち物調べ」を実施し、園生活に必要な持ち物に意識が持てるようにする。

## 3 説明資料

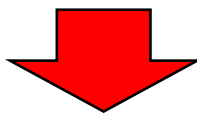
### (1) 「もちものリスト」の配布 【4月】

入園当初、登降園の際、園児のカバンを保護者が持っていたり、帽子をかぶらずにカバンに入れていたりすることがあり、子ども自身が自分の持ち物に意識が低いことが感じられた。そこで、親子で持ち物を確認し一緒に準備ができるように、4月後半、「もちものリスト」を作成した。降園時に保護者一人一人に「もちものリスト」の活用の仕方を伝えながら配布した。



### ☆☆ 活用の仕方 ☆☆

- ☆「もちものリスト」は玄関先やお子さんの通園バッグを置く場所など、目に留まる場所に貼ってご活用下さい。
  - ☆登園前日に、親子で持ち物を確認しカバンに荷物を入れて下さい。
  - ☆登園前の朝、「もちものリスト」を見ながら『帽子OK!』『ハンカチOK!』『水筒OK!』と楽しみながら確認できるといいですね。
  - ☆自分の持ち物に意識がもてるよう、登降園の際は自分のカバンや持ち物は自分で持つようにしましょう。
  - ☆降園の際も水筒や帽子、弁当箱の忘れ物が多いです。お子さんに任せるのではなく、親子で確認してください。
- “忘れ物ゼロ”で登園できるようにしましょう。



保護者からは「絵を見ながら、毎日チェックしてますよ」「夜、明日の準備しようと言って、親子で一緒に確認しながらカバンに持ち物を入れていきます」などの声があった。次第に自分の持ち物に意識がもてるようになり、必要な物をそろえて登降園できるようになってきた。また、カバンも保護者に持たせることもなくなってきた。



### (3) 表示の活用 【10月】

入園当初から登園時間を8時15分としてきましたが、2学期になっても8時15分に間に合わず8時半以降に登園する子がいた。友達関係も深まり始めてきたこの時期に、登園の遅い子はすでに始まっている遊びに入れず戸惑ったり、一人遊びをしたりする子がいた。その現状を保護者に個別で伝えていった。

また、「できると、いいな！幼稚園のお約束」というタイトルで“帽子をかぶって登園しましょう”と“8時15分までに登園しましょう”のポスターを絵と文字入りで作成し、玄関先と各学級に貼り出した。



各学級の黒板や壁など 目の付くところに掲示



ポスターの内容を学級全体で確認し合う



保護者にも意識してもらえるよう玄関先に掲示

8時30分から学級や全体での活動を入れたことで、「もう、始まっている！」と子ども自身が気付き、参加したい意欲を子ども達が保護者へ伝えるため、保護者も子どもの気持ちを受け止め、間に合うように登園できるようになった。また、「できるといいな！幼稚園のお約束」のポスターを張り出し、学級全体で話をしたりしたことで、少しずつだが子ども達も保護者も8時15分登園を意識するようになった。

(4)個人での持ち物調べ【11月】

2学期の生活に慣れた10月頃から、休み明けの月曜日に“うわばき”“帽子”を忘れる子が多くなってきた。特に“帽子”は休み明け関係なく毎日代わる代わる忘れる子がおり、学級用の帽子を借りることが続いた。忘れることが多い子は、園の帽子を借りっぱなしになっていても気づかず、園への返却がないこともあった。

ハンカチや着替え、歯ブラシなどはどうなのか？を学級の集まりで「ハンカチがポケットに入っている子は手をあげて」と声をかけてみると、学級の半数の子が持ってきていることもあるが、学級の3分の1程の子しか持ってきていない日もあった。そこで、11月14日～11月28日の10日間、子ども達が個別で行う持ち物調べを実施することにした。

今回は、7月の時と異なり、登園してすぐに自分自身で持ち物チェックを行う方法を取り入れた。



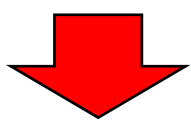
こんな結果に！

持ち物のチェックひょう		持ちものをそろえよう！						なまえ				
		持ちものの じゅんひは まえのひに やりまじょう。かばんしたら じぶんて ○をつけてください。						年長 Aさん				
ひにち	11/14	11/15	11/16	11/17	11/18	11/21	11/22	11/24	11/25	11/28		
(よちひ)	(げつ)	(か)	(すい)	(もく)	(きん)	(げつ)	(か)	(もく)	(きん)	(げつ)		
ぼうし												
おむすびちやく												
すいどう												
ハンカチ												
うわばき												
きかえ												
歯ブラシ												
おむすびちやく												
おむすびちやく												

持ち物のチェックひょう		持ちものをそろえよう！						なまえ				
		持ちものの じゅんひは まえのひに やりまじょう。かばんしたら じぶんて ○をつけてください。						年長 Bさん				
ひにち	11/14	11/15	11/16	11/17	11/18	11/21	11/22	11/24	11/25	11/28		
(よちひ)	(げつ)	(か)	(すい)	(もく)	(きん)	(げつ)	(か)	(もく)	(きん)	(げつ)		
ぼうし												
おむすびちやく												
すいどう												
ハンカチ												
うわばき												
きかえ												
歯ブラシ												
おむすびちやく												
おむすびちやく												

休み明けに忘れ物が多いAさんは、持ち物調べ3日目には「今日ぜんぶ○になった」と嬉しそうに報告してきた。翌日からも忘れ物ゼロで登園できるようになった。

持ち物調べを自分で行うことで「あれ？ハンカチのところはずっと×になっている」と気づくことができ、持ち物をそろえることに意識ができて翌日からは忘れ物をしなくなった。



1週目が終わるころ「ハンカチのところ、ずっと○がついてない！」と気づいた子が、翌日「ハンカチもって来たよ」と嬉しそうに報告してきたり、持ち物チェックしている子の表をのぞき込んで「○○は、毎日忘れ物がないね、なんで？どうやって？」など聞いたりする姿が見られた。「ぼくは、夜お母さんと持ち物リスト見ながら、カバンに洋服とか入れているから、忘れないわけ」と“忘れ物ゼロの方法”を得意気に教える姿も見られた。2週目に入ると先週に比べて全部○がついている子が増えてきた。

## 4 成果

- 「持ち物リスト」や「できるといいな！幼稚園のお約束」のポスターをイラストと文字で作成したことで、子どもにも分かりやすく、親子で一緒に確認したり子ども自身が園に必要なものをそろえて登園するという意識をもつことにつながった。
- 子ども達の実態から忘れ物が目立ち始めた頃に持ち物調べを行った。学級全体で行うことで周りの友達の状態を知り、忘れ物ゼロの友達に刺激を受けて“ぼくも忘れ物ゼロを目指そう”という気持ちがでてきた。また、自分で持ち物調べをすることで、自分が忘れていた物に気づき、忘れないために自分で確認したり準備をする子が増えた。
- 送迎時や個人面談等で保護者へ状況を伝えることで、保護者が我が子の実態を知ったり園での取り組みに共感し、園と家庭とが協力して進めていくことができた。

## 5 課題

- 忘れ物が続く子や登園が遅い子は同じ子という実態がある。子どもだけでは改善できず保護者の協力が必要であるため、その都度状況を伝え個々に合わせて連携をとりながら進めていく。
- 子どもの実態を把握し、改善につながるような工夫した取り組みやマンネリ化しないような方法を考え、子ども達一人一人の基本的な生活習慣が定着するような取り組みを行う。